

令和8年度
瑞浪市教育委員会
点検評価報告書

(令和7年度事業)



令和8年7月
瑞浪市教育委員会

目 次



1 点検評価の概要		1
2 教育委員会の活動状況		2
3 第2期瑞浪市教育振興基本計画 みずなみ教育プランの概要		3
4 令和8年度(令和7年度事業)評価一覧		6
5 施策に対する事業評価		7
施策 1		7
施策 2		9
施策 3		11
施策 4		13
施策 5		14
施策 6		16
施策 7		18
6 教育委員会点検評価委員会のまとめ		20

1 点検評価の概要

【はじめに】

平成 19 年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務づけられました。

これは、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていく趣旨によるものです。

また、点検評価を行うに当たっては、教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされており、点検・評価の客観性を確保することが求められております。

本市では、瑞浪市教育委員会点検評価委員会規則、瑞浪市教育委員会点検評価実施要領により、平成 20 年度より瑞浪市点検評価報告書を作成し報告しております。

【参 考】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○瑞浪市教育委員会点検評価実施要領（抜粋）

（評価事項）

第 3 条 教育委員会は、瑞浪市教育振興基本計画に掲げる施策の実施状況及びその成果について、点検評価を実施する。

2 前項の点検評価においては、次の表により達成度の総合評価を行う。

区分	達成度
A	順調に達成している
B	おおむね順調に達成している
C	達成に向けて課題がある
D	順調でない

（点検評価の手順）

第 4 条 点検評価を実施するに当たっては、事務局各課等がその所管する事業事務等について第一次評価を行う。

2 教育委員会は、第一次評価の結果を基に、評価委員会の意見を聴いたうえで最終評価を行う。

2 教育委員会の活動状況

教育委員会は、教育長と教育委員会委員の構成による合議制の執行機関です。教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて、教育長が事務局を統括して執行します。教育委員会は、会議を通じて意思決定をします。

令和 7 年度の活動状況

- (1) 教育委員会会議 定例会:12 回 臨時会:2 回 計 14 回開催
議案等件数 議案:15 件 承認案件:5 件(可決、承認)
協議会:12 回

総合教育会議 令和 8 年 1 月開催
【協議事項】
◇瑞浪市のコミュニティ・スクール、地域学校協働活動について
◇瑞浪市の部活動地域展開について
◇瑞浪市の ICT 教育の充実と今後の展開について
◇陶小学校及び釜戸小学校の複式学級について
◇瑞浪市の不登校の現状について
◇瑞浪市のいじめの現状について

- (3) 教育功労者表彰 令和 7 年 11 月開催
◇教育関係 2 人、児童生徒 4 人、学校団体 3 団体

- (4) 学 校 訪 問 ◇小学校
教育長訪問 7 校、図書館審査 1 校、市指定発表 2 校
◇中学校
教育長訪問 3 校
◇認定こども園
教育長訪問 8 園

【教育委員会名簿】

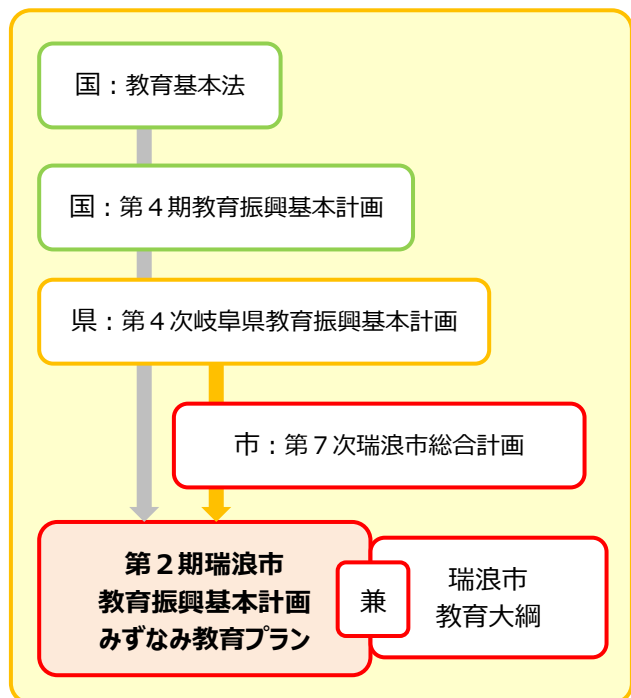
令和 8 年 3 月 31 日現在

職 名	氏 名	任期満了日	備 考
教育長	いとう よしかず 伊藤 慶和	令和 10 年 9 月 30 日	
委 員	はしば まこと 羽柴 誠	令和 9 年 9 月 30 日	教育長職務代理者
委 員	しばた ようこ 柴田 洋子	令和 10 年 9 月 30 日	
委 員	おぐら のぞみ 小倉 望	令和 11 年 9 月 30 日	
委 員	かに けいた 可児 恵太	令和 8 年 9 月 30 日	

3 第2期瑞浪市教育振興基本計画 みずなみ教育プランの概要

瑞浪市教育委員会では、教育基本法第17条第2項の規定に基づき、本市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、令和6年度を初年度とする「第2期瑞浪市教育振興基本計画～みずなみ教育プラン～」を策定しています。この計画は、市の最上位計画である「第7次瑞浪市総合計画」(令和6年(2024年)3月策定)の教育分野の個別計画としての側面を持ちます。また、本市では、教育大綱を本計画の基本構想として位置付けています。

今後は、この計画に基づき、本市の目指す教育の実現に向けて取組を進めます。



計画の基本理念は、『**夢と誇りを育む みずなみの教育**』です。

基本理念の趣旨

次世代を担う子どもが、社会の変化に主体的にかかわり、夢に向かってたくましく生き、ふるさと瑞浪に誇りを感じることでできる教育を、学校や認定こども園・家庭・地域と連携して、令和6(2024)年度から令和10(2028)年度の5年間で推進します。

瑞浪の教育は

家庭や地域と連携・協働して、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付ける教育を推進します。

他者と協働して課題解決を図りながら、**夢**に向かって挑戦する子を育みます。

教育の様々な過程において、子どもたちに地域への愛着や**誇り**を育みます。

認定こども園・学校、家庭、地域の連携

教育を取り巻く変化に柔軟に対応



基本理念を達成するための**基本目標**

基本目標 たくましく生きる基礎を育てる学校教育・就学前教育の推進

・就学前教育の質の向上、そして児童生徒の学力や生きる力の向上に取り組むとともに、園・学校・家庭・地域が連携した教育を展開するなど、教育環境の充実を図ります。



具体的な**施策**

施策1 確かな学力の育成

- できる・わかる授業の充実
- キャリア教育の充実
- 就学前教育の指導・推進

施策2 豊かな心の育成

- 道徳教育の充実
- いじめへの対応と、人権教育の推進
- 「ぎふ いのちの教育」の推進
- 男女共同参画の推進

施策3 一人一人の実態に応じた指導・援助の充実

- 特別支援教育の充実
- 不登校児童生徒の社会的自立を目指した支援
- 教育相談体制の整備

施策4 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

- 情報通信機器の整備による情報教育の推進

施策5 健やかな体づくりと食育の推進

- 学校における体力づくりの充実
- 学校給食の安全供給と安心で美味しい給食の提供
- 学校・家庭の「食育」支援

施策6 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

- こ（幼）小中の連携支援
- 家庭の学びの充実
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 学校における防災・防犯の推進

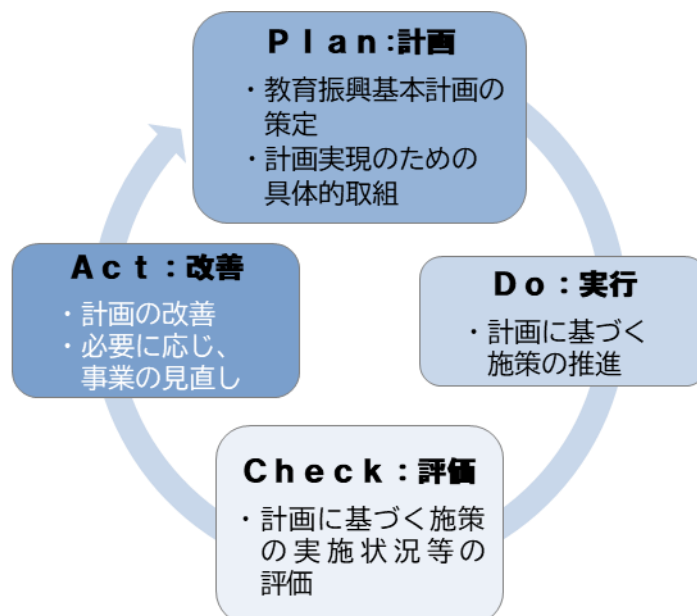
施策7 学校環境等の整備

- 老朽化した学校施設の改修
- 教育環境の整備・向上



計画の進行管理

計画の着実な推進のため、毎年、前年度の実施状況を取りまとめ、内部評価を行うとともに、教育委員会点検評価委員会による外部評価を実施します。教育委員会点検評価委員会による評価結果や課題等については、次年度の取組に反映する、PDCA（Plan：計画、Do：実行、Check：評価、Act：改善）サイクルにより計画の進行管理を行います。



4 令和8年度(令和7年度事業)評価一覧

基本目標 たくましく生きる基礎を育てる学校教育・就学前教育の推進			取組年度ごとの評価				
			R6	R7	R8	R9	R10
主な取組	施策1	①できる・わかる授業の充実 ②キャリア教育の充実 ③就学前教育の指導・推進	A	A			
	施策2	①道徳教育の充実 ②いじめへの対応と、人権教育の推進 ③「ぎふ いのちの教育」の推進 ④男女共同参画の推進	B	B			
	施策3	①特別支援教育の充実 ②不登校児童生徒の社会的自立を目指した支援 ③教育相談体制の整備	A	A			
	施策4	①情報通信機器の整備による情報教育の推進	A	A			
	施策5	①学校における体力づくりの充実 ②学校給食の安全供給と安心して美味しい給食の提供 ③学校・家庭の「食育」支援	A	B			
	施策6	①こ(幼)小中の連携支援 ②家庭の学びの充実 ③コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 ④学校における防災・防犯の推進	A	A			
	施策7	①老朽化した学校施設の改修 ②教育環境の整備・向上	A	A			

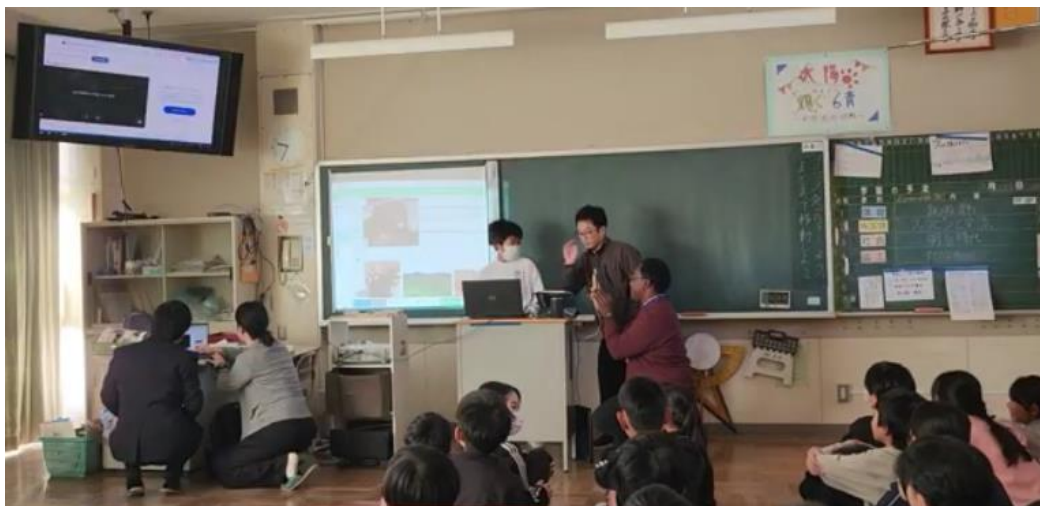
評価区分		評価状況
A	順調に達成している	5
B	おおむね順調に達成している	2
C	達成に向けて課題がある	0
D	順調でない	0
計		7

5 施策に対する事業評価

施 策	1	確かな学力の育成					
取 組	①	できる・わかる授業の充実				学校教育課	
	②	キャリア教育の充実				学校教育課	
	③	就学前教育の指導・推進				学校教育課	
◇令和7年度の取組							
①	各教科の見方・考え方を働かせた深い学びを目指し、教科のねらいに迫る授業づくりを行い、「わかった」「できた」と児童生徒が感じることができるよう、一人一人が大切にされる教育の推進に努めました。						
②	地域や学校、児童生徒の負担とならないよう配慮しながら、地域の特色や魅力を活かした体験活動の推進を図りました。						
③	こ（幼）小連携会議や、園と学校の合同研修会を実施し、架け橋プログラムの充実を図りました。						
◇成果指標							
①	「学校の授業は分かる」と答えた児童生徒の割合（市学習状況調査）						
	計画策定時 （令和4年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和10年度）
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	86.6%	88.7%	86.7%	%	%	%	90.0%
		98.6%	96.3%	%	%	%	
②	自然、生活、社会体験の実施回数						
	計画策定時 （令和4年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和10年度）
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	26回	35回	39回	回	回	回	30回
		116.7%	130%	%	%	%	
③	接続を見通した教育課程の実施結果を踏まえて、接続期カリキュラム（アプローチカリキュラム、スタートカリキュラム）を、よりよいものとなるよう検討をしている園・小学校の割合						
	計画策定時 （令和4年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和10年度）
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	53%	100%	100%	%	%	%	100.0%
		100%	100%	%	%	%	
◇成果と課題							
①小学校の児童の授業の理解度は約3ポイント上昇し、丁寧な学習指導を進めることができています。一方で、昨年度に比べて、中学校において、基礎・基本の定着が十分に図れていない生徒の割合が増えています。生徒が自身を振り返ることができるよさもありますが、教師が、一人一人の学習状況や実態を的確に捉えることをより大切にしていきます。							
②地域の方々と連携を深め、児童生徒は楽しく充実した体験活動を行うことができました。地域と学校で進める諸活動が持続可能なものとなるように、調整を図る必要があります。							
③こ（幼）小連携会議を各小学校区において、意図的・計画的に実施しました。こども園と小学校の教職員が発達段階に応じた園児への手だてや支援の仕方等、一緒に考え合う機会を充実させることができました。							
◇点検評価委員会の意見と教育委員会の対応							
意見：中学校では、理解に不安がある生徒に対して、どのような指導をしていますか。					評価	A	
対応：テスト結果やノートを基に、子どもが学習に主体的に取り組めるよう指導方法を考えます。指導内容について、理解度や定着度を確認し、次の授業の改善に活かします。子どもたちが頑張ったことや伸びたことを評価し、フィードバックします。							
意見：回数的には問題ありませんが、今後は、体験学習が子どもの将来にプラスに							

なることをまとめた段階で意識することが大事だと思います。 対応：今後も、内容や質を向上させたり、キャリアパスポートの活用をしたりしていきます。			
◇次年度の取組方針			
①	学習過程の中で、個の学習状況や実態を的確に捉え、教科の見方や考え方を働かせることで、資質・能力を育み、一人一人の学びが定着するように推進していきます。		
②	地域と学校が進める諸活動が持続可能なものとなるよう、年間行事をもとに、意図的・計画的に進めます。		
③	こども園と小学校の連携について、架け橋プログラムに基づき、発達段階に応じた園児の手だてや支援の仕方等の充実を図ります。		

◇主な事業費（令和7年度決算額）	
・ALT派遣事業	22,000 千円
・教育研修経費	224 千円
・小学校課題指定校経費	250 千円
・中学校課題指定校経費	250 千円



ALT とのチームティーチングにより学習の理解や意欲が深まる児童



施 策	2	豊かな心の育成					
取 組	①	道徳教育の充実				学校教育課	
	②	いじめへの対応と、人権教育の推進				学校教育課	
	③	「ぎふ いのちの教育」の推進				学校教育課	
	④	男女共同参画の推進				学校教育課	
◇令和 7 年度の取組							
①	自分の生き方について、主体的に考える授業づくりを推進するとともに、自分事として考えることで内面を育てる道徳教育を推進しました。						
②	いじめ問題に対し、未然防止、早期発見・早期対応に努めるとともに、全教育活動を通して自他を思いやる心を育ててきました。						
③	児童生徒には「SOSの出し方教育」を、教員には「SOSの受け止め方研修」を実施し、子どもたちに自他の命を大切に作る心を育みました。						
④	「学活」、「総合」、「道徳」、「保健」の授業において、男女共同参画の学習を行い、男女が共に学ぶ楽しさや人権の大切さを感じる心を育てました。						
◇成果指標							
①	「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の割合（市学習状況調査）						
	計画策定時 (令和 4 年度)	実績値（下段：達成度）					目標値 (令和 10 年度)
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
		84.2%	90.5%	88.1%	%	%	
		100.1%	97.9%	%	%	%	
②	いじめは、「どんな理由があってもいけない」と考える児童生徒の割合 (全国学力学習状況調査)						
	計画策定時 (令和 4 年度)	実績値（下段：達成度）					目標値 (令和 10 年度)
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
		98.0%	98.3%	97.9%	%	%	
		98.3%	97.9%	%	%	%	
③	自殺予防教育（SOSの出し方教育・性被害から守る教育）を行った学級の割合						
	計画策定時 (令和 4 年度)	実績値（下段：達成度）					目標値 (令和 10 年度)
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
		90.0%	90.0%	100.0%	%	%	
		90.0%	100.0%	%	%	%	
④	「道徳」「学活」「総合」「保健」の授業で男女共同参画の学習を行った学級の割合						
	計画策定時 (令和 4 年度)	実績値（下段：達成度）					目標値 (令和 10 年度)
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
		-	87.5%	100.0%	%	%	
		87.5%	100.0%	%	%	%	
◇成果と課題							
①令和 7 年度道徳教育計画訪問の地区（瑞浪中学校区）が中心となり、道徳の授業や全教育活動を通じた道徳教育についての財産を市内に広めてきました。今後も、授業を中心に各校の道徳教育を充実させていく必要があります。 小中ともに昨年度に比べて 2 ポイント減少しましたが、道徳的心情を培う指導を大切にしました。自分事として考える場を設定する等、個の実態を的確に捉え、道徳的価値の理解をより一層深めていきます。							
②いじめの未然防止、早期発見・早期対応を軸として取り組んできました。今後も「いじめ重大事態の改訂に関するガイドライン チェックリスト」を活用し、未然防止等の対応を引き続き充実させていく必要があります。							
③児童生徒に向けての研修と教員に向けての研修を実施することで、児童生徒が相談しやすい状況を							

つくるとともに、自他の命を大切にすることを育むことができました。今後も引き続き啓発を図っていく必要があります。 ④どの学校も「学活」、「総合」、「道徳」、「保健」の授業で、男女共同参画の学習を行い、学ぶ楽しさや男女間で労わりあう心を育みました。		
◇点検評価委員会の意見と教育委員会の対応 意見：ゲートキーパー養成講座についての説明と進行状況について説明をお願いします。また、いじめは理由があればやむを得ないと考える子どもの割合は、100人中2人です。全国調査結果の他の項目と比較し数値は高いのですが、100%になってほしいと思います。「どんな理由」の定義もありますが、意図や意味をしっかりと指導する必要があります。 対応：ゲートキーパーの「命の番人」としての役割も踏まえ、SOSの出し方教育や受け止め研修等で命の大切さを伝えていきます。また、相談しやすい職員や居場所づくり、体制づくりを行い、「その子にとって」安心できる風土となるよう努めていきます。 「いじめ」の子どもの捉え方については、日々の学校生活や道徳・学活等において「いじめはいけない」ことの意図や設問の意味を丁寧に指導することや、日々の生活場面の中で、自分も仲間も大切にできる風土を醸成することで、100%を目指していきます。	評価	B
◇次年度の取組方針		
①	令和7年度までの授業づくりの財産をもとに、道徳の授業を中心に、学校における道徳教育の充実を図っていきます。具体的には、自分事として考える場を設定する等、個の実態を的確にとらえ、道徳的価値の理解をより一層深まるように努めます。	
②	「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」チェックシートを活用し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応について、一貫した取組を続けていきます。	
③	児童生徒向けの「SOSの出し方教育」、教員向けの「ゲートキーパー養成講話」、「SOSの受け止め方研修」について、内容を充実させ継続していきます。	
④	学校における全教育活動を通して、違いを認め合い、互いを尊重する心を育む教育を継続します。	

◇主な事業費（令和7年度決算額）	
・瑞浪市いじめ問題調査委員（SC）の報酬	20千円

施 策	3	一人一人の実態に応じた指導・援助の充実					
取 組	①	特別支援教育の充実				学校教育課	
	②	不登校児童生徒の社会的自立を目指した支援				学校教育課	
	③	教育相談体制の整備				学校教育課	
◇令和 7 年度の取組							
①	特別支援学級への指導とともに、市費学業支援員 27 名を配置し、通常学級に在籍し、支援を必要とする児童生徒への支援を充実させてきました。						
②	校内教育支援センターを 5 つの小中学校に設置し、市費、会計年度指導員を配置しました。						
③	共感的理解の下、児童生徒に対して、一人一人のよさを伸ばす指導を継続してきました。						
◇成果指標							
①	通常の学級に在籍する特別の教育的支援が必要な児童生徒の個別的教育支援計画作成率						
	計画策定時 (令和 4 年度)	実績値 (下段：達成度)					目標値 (令和 10 年度)
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
		48.6%	55.6%	60.5%	%	%	
		79.4%	86.4%	%	%	%	
②	校内支援センターの整備率						
	計画策定時 (令和 4 年度)	実績値 (下段：達成度)					目標値 (令和 10 年度)
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
		30.0%	30.0%	50.0%	%	%	
		37.5%	62.5%	%	%	%	
③	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる児童生徒の割合 (全国学力学習状況調査)						
	計画策定時 (令和 4 年度)	実績値 (下段：達成度)					目標値 (令和 10 年度)
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
		70.3%	76.5%	82.7%	%	%	
		95.6%	103.4%	%	%	%	
◇成果と課題							
①市費学業支援員が担任や授業者と連携し、通常学級に在籍し支援を必要とする児童生徒への支援をしてきました。学校のニーズに対する学業支援員数の不足が課題となっています。							
②こぶし教室と校内教育支援センターが連携し、不登校傾向を示す児童生徒の居場所づくりができました。校内教育支援センターを他の小学校にも広げ、支援を充実させる必要があります。							
③一人一人のよさを伸ばす発達支持的生徒指導を継続してきました。今後も研修等を通して教職員の資質向上を図り、一人一人に合った指導・支援を充実させていく必要があります。							
◇点検評価委員会の意見と教育委員会の対応							
意見：次年度の取組方針にある担任や授業者と学業支援員の連携が本当に大事だと思います。連携するためには、時間を確保する必要があります。伝えなければならぬことが伝えられないために支援がうまく進まないことがあってはいけません。特別支援教育や子どもが相談しやすい環境の充実は、大切です。そのためのニーズ調査は毎年行われていますか。					評価	A	
対応：市費学業支援員が担任や授業者と連携していけることは大切だと考えます。そこで、効果的な連携をしていくための打合せの時間もしっかりと確保していけるよう進めていきます。また、校内教育支援センターについては、環境や人的配置も整えられ、個に応じた支援が進められております。瑞浪市教育支援センター「こぶし教室」とも連携を図り、いざという時に誰かに相談できる環境づくりに努めていきます。							

◇次年度の取組方針	
①	担任や授業者と学業支援員とが連携し、指導・支援の内容を充実させていきます。併せて、学業支援員の増員を要望していきます。
②	校内教育支援センターを5小中学校に加え1つの小学校に配置し、指導員を配置します。児童生徒の居場所づくりを充実させていきます。
③	職員研修を充実させ、引き続き、職員の指導力向上に取り組んでいきます。また、各校の実態に応じた教育相談体制の整備に努めていきます。

◇主な事業費（令和7年度決算額）	
・児童生徒学業支援員派遣事業 （学業支援員31名の報酬等）	38,772千円
・教育支援センター運営経費 （こぶし教室指導員報酬、校内教育支援センター指導員報酬等）	16,200千円



こぶし教室における屋外活動



教育支援センターで話し合いを行う児童

施 策	4	教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進					
取 組	①	情報通信機器の整備による情報教育の推進				学校教育課	
◇令和7年度の取組							
①	ICTを効果的に活用し、デジタルとアナログ（紙媒体）とのベストミックスを目指しました。また、校務における生成AIの活用のよさや情報モラルの大切さを伝えました。						
◇成果指標							
①	「学校でタブレットを使って学習していますか」という質問に、「毎日使っている」「だいたい使っている」と答える児童生徒の割合（市学習状況調査）						
	計画策定時 （令和5年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和10年度）
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
		84.0%	84.2%	88.1%	%	%	
		88.6%	92.7%	%	%	%	95.0%
◇成果と課題							
①学習支援ツール「ロイロノート」等の効果的な活用を通して、思考の可視化や情報・教材を共有するなど、多様な学びを構築しました。一方で、情報過多による影響もあり、自分で情報の整理や理解を図る必要があります。							
◇点検評価委員会の意見と教育委員会の対応						評価	A
意見：タブレットの整備による情報推進教育を掲げているのにあえて手書きによる推進を方針にすることについて、余程の理由があるのでしょうか。 対応：脳科学の研究では、書くことによる学習効果が立証されています。また、タブレットを効果的に使うことにより、授業でできることも増えています。今後、教員の研修も行いながら、タブレットの効果的な利用に加え、書くことを通して、学習内容の定着を図っていきます。							
◇次年度の取組方針							
①	学習の終末の授業において、児童生徒が自分の手でノート等を書くことを大切にしたい学びの定着を推進していきます。引き続き、タブレット等の効果的な活用に加え、書くことを通して、学習内容の定着を図る学習活動も大切にします。						

◇主な事業費（令和7年度決算額）	
・ ICT活用経費	9,684 千円



ロイロノートを活用した授業



タブレットを活用した発表会

施 策	5	健やかな体づくりと食育の推進					
取 組	①	学校における体力づくりの充実				学校教育課	
	②	学校給食の安全供給と安心して美味しい給食の提供				学校給食センター	
	③	学校・家庭の「食育」支援				学校教育課 学校給食センター	
◇令和 7 年度の取組							
①	保健統計、運動能力、体力について分析を進め、改善方途を市内小中学校で共有しました。A C Pに関わる体力づくりのよさの共有や児童生徒の運動会や体育大会の確保に努めました。						
②	調理業務、配送業務それぞれについて専門スキルの高い事業者に委託することによって学校給食の安定供給に努めました。						
③	栄養教諭からの通信「食育だより」を踏まえ、学校において毎朝食べる習慣や栄養バランスを取る大切さを児童生徒が感じることができるよう、食育の充実に努めました。また、栄養教諭が計画的に各校を訪問して食に関する指導や各校の計画に沿って担任と栄養教諭の TT による食育授業を行いました。						
◇成果指標							
①	新体力テストの県平均を上回る種目率						
	計画策定時 (令和 4 年度)	実績値（下段：達成度）					目標値 (令和 10 年度)
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
	51.8%	58.9%	44.6%	%	%	%	55.0%
		107.1%	81.1%	%	%	%	
②	給食食材における県内産（市内産を含む）農畜産物の使用割合						
	計画策定時 (令和 4 年度)	実績値（下段：達成度）					目標値 (令和 10 年度)
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
	18.0%	20.7%	20.7%	%	%	%	20.0%
		103.7%	103.7%	%	%	%	
③	「朝食を毎日食べていますか」という質問に、「いつも食べている」「だいたい食べている」と答える児童生徒の割合（市学習状況調査）						
	計画策定時 (令和 4 年度)	実績値（下段：達成度）					目標値 (令和 10 年度)
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
	94.9%	96.2%	95.1%	%	%	%	98.0%
		98.2%	97.0%	%	%	%	
◇成果と課題							
①保健統計、運動能力、体力について「みずなみの子ども」の作成を通してデータ分析をし、改善方途も含めて教職員で共有しました。中学校において、運動機会の二極化や、部活動における活動時間の減少、夏場のW B G Tの値が3 1度を超え、運動制限がかかることが要因の1つとして考えています。							
②施設、設備の老朽化に伴う修繕や大規模な改修が必要となっていますが、費用面が課題となっています。							
③食育だよりや給食時の放送等で朝食の重要性を伝えるとともに、意図的・計画的に旬の野菜の美味しさや地元食材のよさを発信し、児童生徒が美味しく食べることができました。今後も家庭における食育も含め、継続した食育を続けていきます。							
◇点検評価委員会の意見と教育委員会の対応							
意見：体力テストで実績値が下がっています。体を動かす機会が少なくなっているからこそ、細やかな手立てを各学校に助言する必要があります。					評価	B	
対応：健康教育委員会で作成した「みずなみの子ども」の、各学年の考察と今後の指導の方向を冊子やデジタルコンテンツによって配信し、教員間で共有できるようにします。また、運動が苦手な子どもたちが楽しんで運動ができる							

ように、ACP（アクティブ・チャイルドプログラム）を活用し、授業、遊びができるようにしていきます。 意見：給食の時間に流れる給食センターからの放送は素晴らしい食育です。Instagramなどの情報発信は積極的にアピールをすると良いと思います。機械の老朽化や人員不足などの問題も予算を確保して対応していただきたいです。 対応：児童・生徒だけではなく、保護者に対しても食育に関心をもってもらえるように、引き続き情報発信をしていきます。機器の更新や委託業者との契約も、予算を確保し適切に進めていきます。			
◇次年度の取組方針			
①	「みずなみの子ども」を通して、子どもの経年比較や実態分析ができるように教職員間で共有していきます。また、運動に親しむ楽しさやよさを推進していきます。		
②	設備等の定期的な保守点検を行い、修繕が必要な個所を早期に把握・対応するとともに、大規模な改修・更新については計画的に対応を行います。		
③	今後も栄養教諭を中心とした食育の充実を図ります。家庭での食育の推進を図ります。		

◇主な事業費（令和7年度決算額）	
・部活動育成諸経費	120千円 （東海大会 個人3千円、団体20千円）
・学校給食センター設備等改修実施設計業務	6,050千円
・学校給食センタートラックインタイプ蒸気式消毒保管機更新工事	23,760千円
・学校給食センター調理設備更新（連続焼き物機、連続フライヤー、消毒保管機）	61,490千円



衛生管理を徹底した調理風景



給食センターの放送を聞きながらおいしく食べる児童

施 策	6	学校・家庭・地域の連携・協働の推進					
取 組	①	こ（幼）小中の連携支援				学校教育課	
	②	家庭の学びの充実				学校教育課	
	③	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進				学校教育課	
	④	学校における防災・防犯の推進				学校教育課	
◇令和 7 年度の取組							
①	互いの教育の理解を深め、共通の教育課題に関する知見を深められるような研修を実施し、こ（幼）小中連携を支援しました。						
②	家庭内で保護者と子どもとの会話やふれあいの時間を増やすことをねらい、PTAやコミュニティ・スクールからの働きかけとして、「親子ふれあいデー」や「ノーメディアデー」などを計画・実施しました。						
③	地域一家庭一学校が三位一体となった活動ができるよう、活動への参加を呼びかけるようプリントを配布したり、実施後は学校報等で紹介したりすることで周知を図りました。						
④	大雨や地震、火災等の災害を想定した訓練を複数回実施しました。また、熱中症対策などを通して、児童生徒の「自分の命は自分で守る」意識を育ててきました。						
◇成果指標							
①	こ（幼）小中共通の教育課題に関する研修の実施						
	計画策定時 （令和 4 年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和 10 年度）
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
	2 講座	3 講座 100.0%	7 講座 233.3%	講座 %	講座 %	講座 %	3 講座以上
②	「学校での出来事や趣味、友達のことなど家族と一緒に話をすることはありますか」という質問に、「よくある」「ときどきある」と答える児童生徒の割合（市学習状況調査）						
	計画策定時 （令和 5 年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和 10 年度）
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
	92.7%	90.8% 95.6%	92.0% 96.8%	% %	% %	% %	95.0%
③	「自分たちの住む地域のよさを、より理解することができた」と感じる児童生徒の割合（各校の児童生徒アンケート）						
	計画策定時 （令和 4 年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和 10 年度）
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
	80.8%	90.1% 100.1%	91.6% 101.7%	% %	% %	% %	90.0%
④	年 3 回以上の防災訓練（内、1 回は不審者対応）を実施している学校の割合						
	計画策定時 （令和 4 年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和 10 年度）
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
	80.0%	80.0% 80.0%	90.0% 90.0%	% %	% %	% %	100.0%
◇成果と課題							
①学校の教頭や教務主任と園主任の合同研修や夏季休業日を活用した職員同士の合同研修を多く実施したことで、互いの違いや共通課題を理解したり、顔の見える関係の構築を図ったりすることができました。今後は、各小学校区の連携について、さらに広めていけるよう工夫していきます。							
②家庭での会話やふれあいの時間を増やすことをねらって取組を行ったことで、家庭での会話やふれあいが増えたと実感している保護者・子どもの割合が増えました。今後は、日常的に会話やふれあいが続いていくような取組を考えていく必要があります。							

③学校運営協議会の方と児童生徒が一緒に行った活動を紹介したり、ボランティア活動で地域に働きかけたりしたことで、子どもたちの活動の様子を地域に発信することができました。今後は、そういった活動と関連する「学校運営協議会」の認知度を、どのようにして広めていくかを考えていく必要があります。 ④年間複数回の訓練を実施し、主体的に取り組む姿勢を身に付けさせてきました。今後は、様々な危険から身を守ることを考えながら、対応できるようにしていく必要があります。		
◇点検評価委員会の意見と教育委員会の対応 意見：コミュニティ・スクールとは何かを知らない保護者も多いです。周知する必要があります。 対応：瑞浪市内のコミュニティ・スクールの様子をまとめて、掲示物を作成したりホームページに掲載したりすることで、保護者だけでなく、市民の皆様への周知を図っていきます。 意見：コミュニティ・スクールと地域学校協働活動は子どもにとってよい取組です。だからこそ、共通認識が必要です。 対応：コミュニティ・スクールの担当は学校教育課、地域学校協働活動の担当は生涯学習課であり、二課に分かれています。現在はその二課を一人が担当しているため、情報の一本化を図りやすい状況にあります。そこでその利点を生かし、両課合同の会議や資料配付を実施し、情報を共通認識したうえで活動を進めていきます。		
評価 A		
◇次年度の取組方針		
①	こ（幼）一小、小一中、こ（幼）一小一中の連携をさらに密にとるようにします。そのため、①研修の充実・実施 ②各園一学校間の密な連絡 ③情報共有を図るために必要な文書の作成を行っていきます	
②	家庭内の会話やふれあいの時間を増やせるようさらなる働きかけを行っていきます。そのため、①小中の実態に応じた取組内容の工夫・決定と取組内容の紹介 ②日常的に家族がふれあう時間を増やす具体的な取組の紹介について考え、取り組んでいきます。	
③	①地域・家庭を巻き込む学校運営協議会の動きの見える活動の実施 ②活動内容等について広く周知を図る方法の在り方について考え、実践していきます。	
④	災害や危険の種類、起こる場面等、あらゆる内容を想定しながら訓練を重ねる中で、児童生徒が主体的に自他の命を守る姿勢を育んでいきます。	

◇主な事業費（令和7年度決算額）	
・コミュニティ・スクール推進事業	1,789 千円



地域住民と一緒に会場設営の様子



ふれあい映画館の入館受付をする生徒

施 策	7	学校環境等の整備					
取 組	①	老朽化した学校施設の改修				教育総務課	
	②	教育環境の整備・向上				教育総務課	
◇令和 7 年度の取組							
①	土岐小学校校舎外壁等防水改修工事（第 1 期） 瑞浪小学校改修工事基本設計業務						
②	屋内運動場空調設備整備 （トイレ改修工事は事業完了）						
◇成果指標							
①	校舎の大規模改造工事に着手した学校数						
	計画策定時 （令和 4 年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和 10 年度）
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
	6 校/10 校	6 校/10 校 66.7%	6 校/10 校 66.7%	校/10 校 %	校/10 校 %	校/10 校 %	9 校/10 校
②	トイレ改修工事(洋式・乾式化)進捗率						
	計画策定時 （令和 4 年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和 10 年度）
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
	6 校/9 校	9 校/9 校 100.0%					9 校/9 校
◇成果と課題							
①土岐小学校校舎外壁等防水改修工事（第 1 期）及び、瑞浪小学校改修工事基本設計業務が完了しました。環境配慮手法の仕組みの導入について、基本設計業務の中で検討しましたが主だった仕組みの導入は困難でした。							
②令和 7 年度中に各校の屋内運動場に空調設備を整備する方針となり、令和 7 年度は瑞浪中学校の屋内運動場空調設備整備工事実施設計が完了しました。							
◇点検評価委員会の意見と教育委員会の対応							
意見：瑞浪小学校のエレベーターは設置する予定ですか。1 階でしか授業が受けられなかった肢体不自由の子どもたちの行動範囲が広がります。						評価	
対応：実施設計で瑞浪小学校に取り付ける方向で進めています。							
意見：熱中症対策により、空調設備が未設置の体育館では、授業が制限されています。最終的に体育館の空調設備は全校設置する予定ですか。							
対応：全校設置する予定です。補助金等を活用しながら計画的に設置できるよう進めていきます。							
意見：児童・生徒にとって教育環境の充実は最も重要であり、トイレの改修やLED 化、体育館への空調設備の設置など、教育環境の整備が進められていることは大変評価できます。							
						A	

◇次年度の取組方針	
①	・土岐小学校校舎外壁等防水改修工事（第２期）、瑞浪中学校校舎等改修工事（第１期）において照明をLED化します。また、釜戸小学校屋内運動場の天井照明についてもLED化します。
②	・バリアフリー化については、瑞浪中学校において校舎、体育館玄関廻りの段差解消整備をし、体育館に多目的トイレを整備します。また、瑞浪小学校においてエレベーターの設置のための実施設計を行います。 ・屋内運動場空調設備整備事業については、瑞浪小学校は改修工事実施設計業務の中で設計を行い、瑞浪北中学校についても空調整備の設計を行う予定です。

◇主な事業費（令和７年度決算額）	
・土岐小学校改修事業	171,368 千円
・瑞浪小学校改修事業	12,650 千円
・屋内運動場空調設備整備事業	6,600 千円



大規模改修後により外壁等がきれいになった校舎



和式から洋式に改修されたトイレ

6 教育委員会点検評価委員会のまとめ

令和8年5月18日から7月15日の間で、計2回の点検評価委員会を開催し、「第2期瑞浪市教育振興計画 みずなみ教育プラン」の令和7年度の実施について、担当課からの説明を受けた後、委員はそれぞれの立場から質疑や意見を活発に行い、評価を行いました。同時に委員にとっても、これまで知ることのなかった教育委員会の事業について詳しく知る良い機会となりました。

本年度の教育振興基本計画に基づく点検評価において、瑞浪市は厳しい財政状況下にあっても、多くの教育事業を計画的にきめ細かく推進しており、着実な成果を上げている点が高く評価されます。特に市の資源を活かしたコミュニティ・スクールの展開、ならびに食育や家庭学習の充実といった取組は、家庭・学校・地域の連携を深める重要な基盤となっています。一方で、点検評価の結果が学校現場や保護者へ十分に浸透しておらず、効果的に還元されていない点が課題です。体力づくりの充実、情報を的確に届ける「伝わる工夫」、家庭との連携強化等も求められます。今後は、激変する社会情勢に柔軟に対応するため、目標や評価指標を臨機応変に見直すとともに、点検評価の内容を次年度の実施に確実に活かせる仕組みづくりが不可欠です。これらを通してさらに市全体の教育の発展や充実を図ることを提言します。

【瑞浪市教育委員会点検評価委員】 任期は令和8年5月18日から当該年度の審議が終了するまで

役職名	氏名(敬称略)	略歴等	区分
委員長	西尾正代	学習指導員（元：瑞浪市小学校長）	E
職務代理者	小木曾誠	社会教育指導員（元：瑞浪市小学校長）	E
委員	加納礼爾	瑞浪市社会教育委員（元：瑞浪市小学校長）	A
委員	曾我順一	瑞浪小中学校運営協議会長	B
委員	安田小路	瑞浪市PTA連合会長	C

区分：A…社会教育委員、B…学校評議員又は学校運営協議会委員、C…保護者
D…教育団体の関係者、E…その他教育長が適当と認める者

【点検評価委員会開催状況】

回	開催日	会場
第1回	令和8年5月18日(月)	市役所 4階 全員協議会室
第2回	令和8年7月15日(水)	市役所 4階 全員協議会室